

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	ふじそのあき
発言の会議	令和6年 6月 7日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

### 【件名及び発言の要旨】

#### Ⅰ 横須賀市教育環境整備計画について

- (1) 2025年4月1日に田浦小学校と走水小学校が閉校になることが教育委員会により決定された。  
今は安全に近くの学校に通えている児童が、統合により、そうではなくなってしまうのは理不尽と言える。教育委員会は両地域における通学の安全確保を講ずるとし、バス定期代の全額補助を検討している。田浦小学校区・走水小学校区の児童全てに全額支給されるか、教育長に伺う。
- (2) 現在徒歩で小学校に通っている子どもが路線バスを利用することに対する不安は当然であり、路線バスの定期代の全額補助だけでは安全確保が十分だとは言えない。路線バスの対策と同時にスクールバスの検討は進めているか、教育長に伺う。
- (3) バス通学になることによる具体的な不安を解消する方策について、教育長に伺う。
- (4) 本市全小学校での開設が進められている放課後子ども教室は、登録をすれば放課後に帰宅しなくても過ごすことができ、子どもの居場所の一つとして、環境が変わり学区が広がる当地域に求められている。長浦小学校と馬堀小学校の放課後子ども教室

- の開設予定について、市長に伺う。
- (5) 統合までの準備期間が1年余しかないことについて、教育長に伺う。
- ア 児童や保護者、地域住民の懸念が残るのではないか。
  - イ 現場で調整をする事務局職員や教職員への過度な負担にならないか。
  - ウ 統合時期の延期を検討するべきではないか。
- (6) 保護者や地域の方との合意形成について、教育長に伺う。
- ア 合同学校運営協議会での議論を保護者や地域の方に報告する予定はあるか。
  - イ 地域住民を交えた意見聴取の場を設ける予定はあるか。
- (7) 横須賀市子どもの権利を守る条例にのっとり、学校配置の検討についての当事者である児童が参加できるように努めるべきではないか。教育長に伺う。
- (8) 田浦地域では子どもを中心とした地域づくりが行われている。走水地域からは「小規模特別認定校として走水小学校を存続する」という案が方策案の一つとして提案された。学校配置を検討する際に、学校の廃止によって子どもを含めた地域住民の暮らしにどのような影響があるのか、考慮しているのか。教育長に伺う。
- (9) 教育環境整備計画の後期計画として、逸見小学校・沢山小学校・桜小学校・汐入小学校が検討の対象となっている。廃止ありきではない、子どもを最優先にした検討をしていただきたいが、今現在のスケジュールについて教育長に伺う。
- (10) 小学校がなくなることでのまちづくりへの影響について、市長に伺う。
- ア 子育て中の家庭が住まなくなるのではないかという懸念への対処は考えられているか。
  - イ まちづくりの計画に学校施設の配置は関連付けられているか。

## 2 公立高校入学者選抜における追検査対象に月経による体調不良が加わったことの周知について

- (1) 高校入試における追検査対象に月経による体調不良を追加するとして文部科学省の通知を知らない中学生が84.8%に及ぶとする調査結果が発表された。一方で78.6%の中学生が「必要な制度だと思った」と回答している。中学生に周知を進める必要がある。市立中学校に通う生徒に対して、月経に伴う体調不良が追検査の対象になったことを伝えているか、教育長に伺う。